

教育研究業績書

令和7年4月30日			
氏名 伊藤 え つ 子			
認定を受けようとする課程における担当授業科目			
領域及び保育内容の 指導法に関する科目	大学が独自に 設定する科目	教育の基礎的理解に 関する科目等	特別支援教育に 関する科目
・ 保育内容健康 (オムニバス) ・ 保育内容表現 (クラス分け) ・ 保育内容健康の指導法 (オムニバス) ・ 保育内容表現の指導法 (クラス分け)	・ 子ども文化演習B (複数)		
教育上の能力に関する事項			
事項	年 月	概要	
1. 教育方法の実践例	令和2年7月	・ グーグルクラスルームを活用し、WEB上で事前の資料配布や小テスト等を実施した。メールで学生との相談や指導を行った。	
2. 作成した教科書、教材	平成17年3月 平成16年4月 ～平成21年3月 平成31年3月	・ 埼玉県児童生徒の体力向上に向けた啓発ビデオを作成し、埼玉県内公立小中学校に配布した。 ・ すくすくプログラム (小学生版) ・ ステップアッププログラム (中学生版) ・ 平成17年度～平成21年度体力向上に向けた指導資料 (小中高等学校用) 児童生徒の体力向上に向け、県内の学校種ごとの指導事例等を掲載した啓発資料を作成し埼玉県内小中高等学校に配布した。 ・ 平成17年度埼玉県学校体育必携第47号～平成21年度埼玉県学校体育必携第51号 埼玉県内小中高等学校の体力向上の課題や指導方法、体育授業の学習指導案例を掲載している啓発書を作成し、埼玉県内小中高等学校に配布した。 ・ 平成16年度～平成20年度埼玉県体力向上推進事業報告書 埼玉県内小中高等学校の新体力テスト結果や分析を掲載した報告書を作成し埼玉県内小中高等学校に配布した。 ・ 平成30年度埼玉県特別支援教育教育課程編成要領『特別支援学校幼稚部編』 学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、文部科学省の解説に基づき、障害の特性を生かした教育課程の編成に関する事項と具体的な指導方法や学習指導案例を掲載し、埼玉県内視覚障害、聴覚障害特別支援学校に配布した。	

(様式第3号で付した教員の通し番号)【教員の姓】—

様式第4号(教員個人に関する書類)

3. 教育上の能力に関する 大学等の評価		特記事項なし
4. 実務の経験を有する 者についての特記事項		特記事項なし
職務上の実績に関する事項		
事項	年 月	概要
1 資格, 免許	昭和56年3月 昭和56年3月 令和6年3月	中学校教諭1種免許状(保健体育)(昭55中1第1188号) 高等学校教諭1種免許状(保健体育)(昭55高2第1236号) 特別支援学校2種(知肢病)(令5特支二種第224号)
2 学校現場等での実務経験	38年	埼玉県立白岡高等学校教諭(昭和56年4月～昭和61年3月) 埼玉県立草加高等学校教諭(昭和61年4月～平成2年3月) 埼玉県立越谷養護学校教諭(平成2年4月～平成15年3月) (うち平成14年4月～平成15年3月保健主事) 埼玉県立越谷西特別支援学校教諭(平成15年4月～平成16年3月) 埼玉県教育局保健体育課指導主事(平成16年4月～平成21年3月) 埼玉県立宮代特別支援学校教頭(平成21年4月～平成24年3月) 埼玉県立蓮田特別支援学校教頭(平成24年4月～平成26年3月) 埼玉県立越谷西特別支援学校校長(平成26年4月～平成28年3月) 埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園校長(平成28年4月～平成30年3月) 埼玉県立八潮高等学校校長(平成30年4月～平成31年3月)
3 実務の経験を有する者についての特記事項	平成16年4月～平成21年3月 令和2年4月～令和6年3月 令和4年7月～3月	・教育局の学校体育担当の指導主事として、埼玉県学校体育必携(平成16年度～平成20年度版)の編集に携わった。 ・埼玉県内の小学校、中学校、高等学校における保健体育の授業研究会において、のべ約200校で指導講評を行った。 ・埼玉県内の児童生徒の体力向上のための推進を行った。 ・埼玉県女子体育連盟の夏季研修会等で、各校種のダンスの授業研究について指導講評を行った。 ・武蔵丘短期大学において、教職課程の学生向けに教育現場の状況を知らせるとともに教育実習や介護等の体験に向けて不安を取り除き周到に準備させる指導を行った。保健体育の模擬授業では生徒の興味関心や安全面の配慮などについて学生の気づきを促した。 また、特別支援学校で勤務した経験を生かし、児童生徒への指導事例をもとに障害の特性の理解や自立に向けた取り組みの理解に役立てた。 ・吉見町立よしみ保育園の要請により武蔵丘短期大学が当園で実施した体力テスト結果から、園児の体力の向上に向けた取り組みが必要であるとの結果になった。そこで、武蔵丘短期大学・山村学園短期大学共同研究としてオリジナルなよしみけやき保育所体操「へんしんからだあそび パピポポッ!」の創作を行い、当園に贈呈した。本人の果

様式第4号(教員個人に関する書類)

		令和6年11月 ～平成6年12月	たした役割は、当該体操の創作である。 ・令和4, 5年度特定非営利活動法人武蔵丘スポーツクラブの地域貢献事業川島町総合型地域スポーツクラブとの連携した事業として、武蔵丘短期大学スポーツクラブから指導者を派遣し、町民へのスポーツの普及啓発を図った。 本人の果たした役割として、当該スポーツクラブの指導者として、知的障害者へのダンス指導を4回担った。			
4 その他			特記事項なし			
担当授業科目に関する研究業績等						
担当授業科目	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行 年月	出版社又は 発行雑誌等 の名称	執筆ページ数 (総ページ数)	概 要 (共著の場合は全員の著者名を記載) (共著及び執筆ページ数が抽出できない場合は執筆箇所を詳述)
・保育内容健康(オムニバス)	(教育実践記録等) 1. 埼玉県の特 別支援学校に おける体育・ス ポーツについ て	単	平成31 年3月	アダプ テッド・ ス ポ ー ツ 科 学 (2018)1 6(1)	4(4)	1 埼玉県特別支援学校体育連盟が 大きな役割を果たしてきたことを 紹介した。 2 ろう学校の部活動の状況や課題 を紹介した。 3 <u>特別支援の教職員が生涯スポー ツの観点を持ち指導することでス ポーツを継続し、生涯健康に生活 できることを事例紹介を通し述べ た。</u> 執筆者：伊藤えつ子
・保育内容表現(クラス分け)	(教育実践記録等) 1. 学校におけ るダンス教育 の変遷ー表現 と創作ダンス の学習指導要 領における学 習内容に焦点 をあててー	単	令和3 年3月	武蔵丘 短期大 学紀要 28(2020)	12(12)	学校における創作ダンスの授業に ついて、教員の指導の困難さの解決 に向け、学校にダンスが取り入れら れた学校体操教授要目から現行の学 習指導要領までの内容の取り扱いの 変遷をまとめた。既成のダンスやラ バンの提唱するエフォートを授業に 取り入れることで指導の困難さの解 決に役立つと考えられる。 <u>このエフ ォートを、学校での授業だけでなく 幼児の指導においても意識して指導 することで幅広い自由な表現が可能 になることを述べた。</u> 執筆者：伊藤えつ子
・保育内容健康の指導法 (オムニバス)	(教育実践記録等) 1. 埼玉県の特 別支援学校に おける体育・ス	単	平成31 年3月	アダプ テッド・ ス ポ ー	4(4)	(再掲のため、略)

様式第4号(教員個人に関する書類)

	ポーツについて			ツ 科 学 (2018)1 6(1)		
・ 保育内容 表現の指導 法 (クラス 分け)	(教育実践記 録等) 1. 学校におけ るダンス教育 の変遷ー表現 と創作ダンス の学習指導要 領における学 習内容に焦点 をあててー	単	令 和 3 年 3 月	武 蔵 丘 短 期 大 学 紀 要 28(2020)	12(12)	(再掲のため、略)
子ども文化 演習 B (複 数)	(教育実践記 録等) 1. 学校におけ るダンス教育 の変遷ー表現 と創作ダンス の学習指導要 領における学 習内容に焦点 をあててー 2. 高等学校に おける特別支 援教育の支援 に関する研究 3. 高等学校 における特別 支援教育の現 状について	単 共 共	令 和 3 年 3 月 令 和 4 年 3 月 令 和 5 年 3 月	武 蔵 丘 短 期 大 学 紀 要 28(2020) 武 蔵 丘 短 期 大 学 紀 要 29(2021) 武 蔵 丘 短 期 大 学 紀 要 30(2022)	12(12) 19(21) 1(6)	(再掲のため、略) 【当該業績の概要】 高等学校における特別支援教育の 実施状況と発達障害のあるまたは傾 向のある生徒についての支援方法に ついて文献をレビューしたことによ り効果的な支援方法をまとめるこ とができた。 【本人執筆部分の概要】 論文の概要と第2章の英語と数学 の指導について執筆した。 執筆者：島田里緒菜、伊藤えつ子 【当該業績の概要】 高等学校における特別支援教育の 実施状況を調査するため、高等学校 7校の教職員の意識調査を行った。 在籍している発達障害の疑いがある 生徒への支援の状況にはばらつきが あり、教職員の発達障害への意識は 不十分であることが分かった。 【本人の果たした役割】 序論と考察、引用文献を執筆した。 執筆者：島田里緒菜、伊藤えつ子 【当該業績の概要】

様式第4号(教員個人に関する書類)

4. 高等学校における特別支援教育の現状について—授業を中心とした指導・支援の在り方—	共	6 年 3 月	武 蔵 丘 短 期 大 学 紀 要 31(2023)	19 (21)	高等学校の授業における支援方法について高等学校7校の教員にアンケート調査を実施し、教科別の支援の状況を分析し特徴をまとめた。 <u>教科により支援の多さが有意に異なることが分かった。</u> 【本人の果たした役割】 データの分析、考察等すべての執筆を行った。 執筆者： <u>伊藤えつ子</u> 、島田里緒菜、後藤多可志、春原則子
5. 埼玉県の特 別支援学校に おける体育・ス ポーツについ て	単	平 成 31 年 3 月	ア ダ プ テッド・ ス ポ ー ツ 科 学 (2018)1 6(1)	4 (4)	(再掲のため、略)